

2010年3月2日(火)~5月9日(日)



ちひろと金子みすゞ

生涯、子どもを描き続けた画家いわさきちひろ。時には幼い頃の思い出をいきいきと描き、また時には温かなまなざしで子どもを見つめ、その輝きをとらえました。詩人金子みすゞも、みずみずしい感性でいのちや自然を見つめ、心に響く数々の詩をつづりました。ちひろの絵とみすゞの詩は、現代に生きる私たちが見失いかけている大切なものを描き出しています。本展では、「幼い心」、「春の野山」、「花」、「夢」といったテーマから、ふたりの作品をご紹介します。時を経て実現したコラボレーションをお楽しみ下さい。

協力：金子みすゞ著作保存会、(株)JULA出版局

わたし
私と小鳥と鈴と

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面を速くは走れない。
私がかからだをゆすつても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんな唄は知らないよ。
鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。



こだまでしょうか

「遊ぼう」っていうと
「遊ぼう」っていう。
「馬鹿」っていうと
「馬鹿」っていう。
「もう遊ばない」っていうと
「遊ばない」っていう。
そうして、あとで
さみしくなって、
「ごめんね」っていうと
「ごめんね」っていう。
こだまでしょうか、
いいえ、誰でも。

日永

山から

山を

雲のかけは。

桜から

枝へ

春の鳥は。

空から

空を

その子の瞳は。

空より

そとを

日なかの夢は。

図版上から いわさきちひろ「草むらの小鳥と少女」1971年、「小鳥とあかちゃん」1971年、「そっぽを向く少年と人形を抱く少女」1970年、詩は全て『金子みすゞ童謡全集』(JULA出版局)より



いわさきちひろ 1918 - 1974

大正7(1918)年、福井県武生市(現在の越前市)に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。「世界中の子ども みんなに 平和としあわせを」という願いをこめて、子どもを生涯のテーマとして描く。昭和49(1974)年肝ガンのため、55歳で世を去った。



金子みすゞ 1903 - 1930

明治36(1903)年、山口県大津郡仙崎村(現在の長門市)に生まれる。大正末期から昭和初期にかけて、童謡雑誌を中心にすぐれた詩を発表。西條八十に「若き童謡詩人の中の巨星」と称賛される。昭和5(1930)年、26歳で世を去った。

会期中のイベントのご案内

* イベントの詳細は随時ちひろ美術館HP (<http://www.chihiro.jp/>) でご案内します。
お申し込み・お問い合わせは ちひろ美術館・東京イベント係まで。

—「ちひろと金子みすゞ」展・関連イベント—

●太田治子講演会「ちひろとみすゞ」

4/4(日) 17:30～18:30 多目的展示ホール

作家・太田治子さんが、いわさきちひろと金子みすゞの響きあう世界について語ります。

定員：80名 参加費：500円 *要申込み

3/2(火)申込み受付開始

太田治子プロフィール

1986年『心映えの記』で第1回坪田譲治文学賞受賞。著書に『母の万年筆』『恋する手』など。2009年、両親について綴ったエッセイ、『明るいほうへ—父・太宰治と母・太田静子』を上梓。



●松本猛(安曇野ちひろ美術館・館長)による ギャラリートーク 3/17(日) 14:00～

母・ちひろとの思い出や作品にまつわるエピソードを、展示室を回りながらお話しします。*参加自由

●ギャラリートーク

毎月第1・3土曜日 14:00～

展示室にて *参加自由

●えほんのじかん

毎月第2・4土曜日 11:00～

こどものへや 協力：NCBN

*参加自由

●わらべうたあそび

4/17(土) 11:00～11:40

講師：服部雅子

声を出して歌ったり、体を動かしたりしながら、親子で楽しく参加できます。0～2歳までの乳幼児と保護者対象。定員：15組30名 参加費：無料(入館料のみ) *要申込み
3/16(火)申込み受付開始

同時展示 —映画「おとうと」から生まれた絵本—

●『絵本 おとうと』原画展

山田洋次監督の映画「おとうと」のポスターを手がけた松本春野が、映画の中で吉永小百合さんと笑福亭鶴瓶さんが演じる姉弟の幼少時代を描いた絵本の原画展です。悪ガキだけれど憎めないつろうと、やさしいおねえちゃん、そしてふたりを見守る家族の姿があたたかく描かれています。

会場：ちひろ美術館・東京 図書室

—『絵本 おとうと』原画展関連イベント—

●対談 山田洋次(映画監督・当館理事長)×松本春野 映画と絵本の「おとうと」を語る

3/13(土) 17:45～18:45 多目的展示ホール

定員：80名 参加費：500円 *要申込み 2/12(金)申込み受付開始

松本春野(まつもと はるの)

1984年、東京に生まれる。祖母はいわさきちひろ。多摩美術大学油画科卒業。大学在学中にロンドンに留学。現在、子どもの本や雑誌を中心に活動中。主な仕事に、山田洋次監督作品映画「おとうと」(松竹株式会社)ポスター・チラシ、『絵本 おとうと』(新日本出版社)などがある。



次回展示予告 2010年5月12日～7月11日

ちひろの雨



黄色い傘の子どもたち 1971年

〈企画展〉

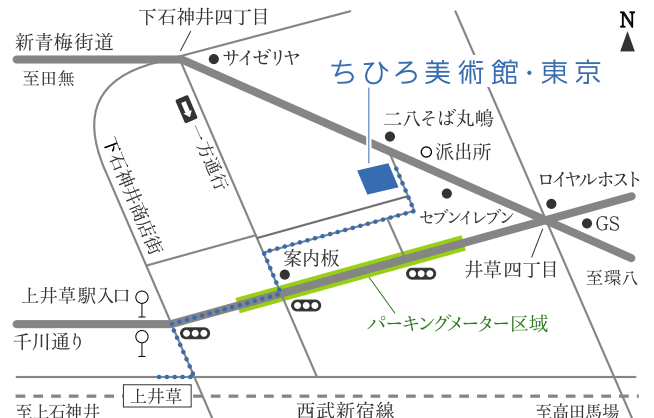
生誕100年 赤羽末吉展！ —絵本は舞台だ！—



『ほしになつたりゅうのきば』より 1976年

インフォメーション

- 展示会期…2010年3月2日(火)～5月9日(日)
- 開館時間…10時～17時(4月29日～5月5日は18時まで開館)
- 休館日…月曜日
但し3/22・5/3(月・祝)は開館、3/23(火)・5/6(木)は休館
- 入館料…大人800円/高校生以下無料
団体(有料入館者20名以上)、65歳以上の方、学生証をお持ちの方は100円引/障害者手帳ご提示の方は半額、介添えの方は1名まで無料/視覚障害のある方は無料
- 交通…
○ 西武新宿線上井草駅下車徒歩7分
○ JR中央線荻窪駅より西武バス石神井公園駅行き(荻14) 荻窪駅入口下車徒歩5分
○ 西武池袋線石神井公園駅より西武バス荻窪駅行き(荻14) 上井草駅入口下車徒歩5分
○ 駐車場あり(乗用車3台・身障者用1台)



ちひろ美術館・東京 <http://www.chihiro.jp/> お問い合わせは、広報担当：阿部・原島・川口・上島まで

〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2 TEL.03-3995-0772 テレホンガイド 03-3995-0820 FAX 03-3995-0680